



平成30年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年5月8日

上場会社名 株式会社インタースペース 上場取引所 東
 コード番号 2122 URL http://www.interspace.ne.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河端 伸一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理管掌 (氏名) 岩淵 桂太 TEL 03(5339)8680
 四半期報告書提出予定日 平成30年5月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年9月期第2四半期の連結業績（平成29年10月1日～平成30年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|------|------|------|------|----------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 30年9月期第2四半期 | 14,040 | 8.2 | 494 | 5.3 | 491 | 5.5 | 310 | 11.3 |
| 29年9月期第2四半期 | 12,979 | 17.2 | 469 | 16.1 | 465 | 15.9 | 278 | 18.9 |

(注) 包括利益 30年9月期第2四半期 295百万円 (3.9%) 29年9月期第2四半期 284百万円 (28.2%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年9月期第2四半期 | 45.74 | — |
| 29年9月期第2四半期 | 41.11 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 30年9月期第2四半期 | 8,886 | 4,430 | 49.8 | 653.02 |
| 29年9月期 | 8,856 | 4,229 | 47.7 | 623.42 |

(参考) 自己資本 30年9月期第2四半期 4,429百万円 29年9月期 4,228百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年9月期 | — | 0.00 | — | 14.00 | 14.00 |
| 30年9月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 30年9月期(予想) | — | — | — | 14.00 | 14.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成30年9月期の連結業績予想（平成29年10月1日～平成30年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|-----|-------|-------|---------------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 30,000 | 8.1 | 1,150 | 7.1 | 1,150 | △10.9 | 695 | △13.6 | 102.46 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有
新規 1社 （社名） 4 M E E E 株式会社
（注）詳細は、添付資料P. 7 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|------------|----------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 30年9月期2Q | 6,967,200株 | 29年9月期 | 6,967,200株 |
| ② 期末自己株式数 | 30年9月期2Q | 184,241株 | 29年9月期 | 184,193株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 30年9月期2Q | 6,783,007株 | 29年9月期2Q | 6,783,030株 |

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来予想に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2 「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 1 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 1 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 1 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 3 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 3 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 4 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 4 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 5 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 6 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) | 7 |
| (企業結合等関係) | 7 |
| (セグメント情報等) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、金融資本市場の変動による景気への影響も一部懸念されますが、好調な企業業績に伴う設備投資の増加、雇用環境の改善や消費動向の持ち直しなどを背景に緩やかな回復基調が続いている一方で、海外経済においては、米国の政策運営の行方、中国、欧州経済の不安定さから先行き不透明な状況が続き、我が国の景気の下押しが懸念されます。

当社グループが属するインターネット広告市場は、引き続き安定的な成長が見込まれ、スマートフォンを活用したサービスの拡大やユーザーの利用拡大に伴う動画広告の伸長など、新たな広告手法の活用が期待されております。

こうした事業環境のもと、当社グループは主力事業であるアフィリエイトサービスを中心に「コンテンツ、メディアの拡充」、「グローバル展開の推進」、「人材の確保と育成」を重点項目として掲げ、事業拡大に取り組んでおります。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は14,040百万円（前年同四半期比8.2%増加）、営業利益は494百万円（前年同四半期比5.3%増加）、経常利益は491百万円（前年同四半期比5.5%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は310百万円（前年同四半期比11.3%増加）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

<インターネット広告事業>

当事業は、インターネットを活用した成果報酬型広告であるアフィリエイトサービスを主軸に事業を展開しております。主力のアフィリエイトサービス「アクセストレード」においては、昨年度大きく伸長したECカテゴリにおいて「コスメ、サプリメント」などの単品通販商品が一部の広告規制等があり減少したものの、直近四半期は持ち直しがみられ前年同四半期比約26%の増加で推移いたしました。金融カテゴリにおいては、引き続きFX関連の案件が堅調なほか、注目市場となった仮想通貨案件の伸長により前年同四半期比で約18%の伸長となりました。店舗向けアフィリエイトサービス「ストアフロントアフィリエイト」においては、提携店舗とのコミュニケーション強化を推進し行動量を増加させた結果、稼働率を高く維持し前年同四半期比14%増加となりました。ネイティブアドネットワーク「X-lift」においては、配信ボリュームの高いメディアの開拓および連携に注力し、配信在庫の増加と稼働案件の向上に努めました。

また、海外事業においては、連結子会社であるインドネシア及びタイの両国において昨年度から取組みを開始したLINEポイントとの広告連携により、広告取扱高を大きく伸長させ更なる拡大が期待されます。

これらの結果、当事業の売上高は13,592百万円（前年同四半期比7.4%増加）、セグメント利益は418百万円（前年同四半期比：1.7%増加）となりました。

<メディア運営事業>

当事業は、日本最大級のママ向けコミュニティサイト「ママスタジアム」を主軸に事業を展開し、スマートフォン向けアプリの企画開発、提供も行っております。主力の「ママスタジアム」において、ママに人気のレシピ動画やFacebook、Instagramなどの運用を強化し、ユーザーへのリーチを拡げママ向け情報メディアとしての認知向上に向け注力いたしました。その結果、月間ユニークユーザー数は堅調に推移し、タイアップ広告の受注拡大など順調に収益貢献いたしました。また2月より連結子会社となった4MEEE株式会社が運営する

「4MEEE」、「4yuu!」は、女性向けトレンドメディアとして、ファッションやメイクなどの情報記事を毎日発信しております。今後も既存の運営メディアとの相乗効果をより高めてまいります。ネイティブアプリなどを提供するコンテンツ事業においては、海外向けに配信している女性向け恋愛カジュアルアプリが引き続きダウンロード数を伸ばし順調に拡大しております。

これらの結果、当事業の売上高は448百万円（前年同四半期比37.4%増加）、セグメント利益は75百万円（前年同四半期比31.0%増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は7,720百万円となり、前連結会計年度末に比べ29百万円減少いたしました。固定資産は1,166百万円となり、前連結会計年度末に比べ60百万円増加いたしました。これは主に本社の内部造作に伴い有形固定資産が42百万円増加したことによるものであります。

この結果、資産合計は8,886百万円となり、前連結会計年度末に比べ30百万円増加いたしました。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は4,383百万円となり、前連結会計年度末に比べ169百万円減少いたしました。これは主に買掛金が66百万円減少、賞与引当金が21百万円増加、法人税等の支払い等により未払法人税等が110百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は4,456百万円となり、前連結会計年度末に比べ170百万円減少いたしました。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は4,430百万円となり、前連結会計年度末に比べ200百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益310百万円及び剰余金の配当94百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は49.8%（前連結会計年度末は47.7%）となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ261百万円減少し、3,912百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金収入は49百万円（前年同四半期は306百万円の収入）となりました。

主な資金増加要因は、税金等調整前四半期純利益479百万円、減価償却費101百万円、投資有価証券評価損26百万円、賞与引当金21百万円等によるものであります。主な資金減少要因は、法人税等の支払額283百万円、売上債権の増加額142百万円、仕入債務の減少額67百万円、未払消費税等の減少額70百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金支出は209百万円（前年同四半期は190百万円の支出）となりました。

主な資金減少要因は、本社の内部造作に関する有形固定資産の取得による支出64百万円、差入保証金の差入による支出33百万円、無形固定資産の取得による支出81百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出17百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金支出は96百万円（前年同四半期は75百万円の支出）となりました。

主な資金減少要因は、配当金の支払額94百万円等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年11月14日の「平成29年9月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成29年9月30日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成30年3月31日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 4,174,088 | 3,912,328 |
| 売掛金 | 3,259,500 | 3,431,934 |
| その他 | 317,993 | 378,349 |
| 貸倒引当金 | △957 | △1,800 |
| 流動資産合計 | 7,750,626 | 7,720,811 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 218,804 | 261,665 |
| 無形固定資産 | | |
| その他 | 320,401 | 340,228 |
| 無形固定資産合計 | 320,401 | 340,228 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 592,228 | 589,489 |
| 貸倒引当金 | △25,359 | △25,292 |
| 投資その他の資産合計 | 566,869 | 564,197 |
| 固定資産合計 | 1,106,075 | 1,166,091 |
| 資産合計 | 8,856,701 | 8,886,903 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 3,697,414 | 3,630,906 |
| 未払法人税等 | 310,551 | 199,689 |
| 賞与引当金 | 126,312 | 148,265 |
| その他 | 418,562 | 404,394 |
| 流動負債合計 | 4,552,840 | 4,383,255 |
| 固定負債 | | |
| その他 | 74,454 | 73,458 |
| 固定負債合計 | 74,454 | 73,458 |
| 負債合計 | 4,627,295 | 4,456,714 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 984,653 | 984,653 |
| 資本剰余金 | 725,000 | 725,000 |
| 利益剰余金 | 2,591,210 | 2,806,488 |
| 自己株式 | △100,155 | △100,239 |
| 株主資本合計 | 4,200,709 | 4,415,902 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 25,034 | 19,527 |
| 為替換算調整勘定 | 2,903 | △5,997 |
| その他の包括利益累計額合計 | 27,937 | 13,529 |
| 新株予約権 | 760 | 756 |
| 純資産合計 | 4,229,406 | 4,430,188 |
| 負債純資産合計 | 8,856,701 | 8,886,903 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年3月31日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 12,979,155 | 14,040,838 |
| 売上原価 | 10,683,625 | 11,640,000 |
| 売上総利益 | 2,295,530 | 2,400,838 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,825,926 | 1,906,317 |
| 営業利益 | 469,603 | 494,520 |
| 営業外収益 | | |
| 為替差益 | 11,448 | — |
| 助成金収入 | 1,910 | 3,171 |
| その他 | 421 | 638 |
| 営業外収益合計 | 13,780 | 3,810 |
| 営業外費用 | | |
| 投資事業組合運用損 | 9,531 | 2,556 |
| 持分法による投資損失 | 7,815 | 2,707 |
| その他 | 308 | 1,833 |
| 営業外費用合計 | 17,655 | 7,097 |
| 経常利益 | 465,728 | 491,233 |
| 特別利益 | | |
| 負ののれん発生益 | — | 14,181 |
| 特別利益合計 | — | 14,181 |
| 特別損失 | | |
| 投資有価証券評価損 | 25,766 | 26,143 |
| 特別損失合計 | 25,766 | 26,143 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 439,962 | 479,271 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 150,824 | 178,229 |
| 法人税等調整額 | 10,299 | △9,198 |
| 法人税等合計 | 161,123 | 169,030 |
| 四半期純利益 | 278,838 | 310,240 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 278,838 | 310,240 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年3月31日) |
|------------------|--|--|
| 四半期純利益 | 278,838 | 310,240 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 8,768 | △5,506 |
| 為替換算調整勘定 | △3,152 | △8,835 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 325 | △65 |
| その他の包括利益合計 | 5,941 | △14,407 |
| 四半期包括利益 | 284,780 | 295,832 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 284,780 | 295,832 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年3月31日) |
|--------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 439,962 | 479,271 |
| 減価償却費 | 97,937 | 101,143 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | △628 | 776 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | 16,832 | 21,960 |
| 受取利息及び受取配当金 | △137 | △174 |
| 為替差損益(△は益) | △12,595 | △1,415 |
| 持分法による投資損益(△は益) | 7,815 | 2,707 |
| 投資事業組合運用損益(△は益) | 9,531 | 2,556 |
| 負ののれん発生益 | — | △14,181 |
| 投資有価証券評価損益(△は益) | 25,766 | 26,143 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △98,150 | △142,920 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 147,348 | △67,853 |
| 未払消費税等の増減額(△は減少) | △50,404 | △70,329 |
| その他 | 25,028 | △11,055 |
| 小計 | 608,303 | 326,629 |
| 利息及び配当金の受取額 | 97 | 170 |
| 投資事業組合分配金の受取額 | 33,481 | 5,741 |
| 法人税等の支払額 | △337,791 | △283,446 |
| 法人税等の還付額 | 2,104 | 20 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 306,195 | 49,116 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △93,033 | △64,928 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △48,746 | △81,520 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △30,107 | — |
| 投資有価証券の売却による収入 | 50 | — |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 | — | △17,046 |
| 子会社株式の取得による支出 | — | △3,000 |
| 貸付けによる支出 | △4,871 | △9,636 |
| 貸付金の回収による収入 | 623 | 342 |
| 差入保証金の差入による支出 | △14,607 | △33,476 |
| 差入保証金の回収による収入 | 2,425 | — |
| 資産除去債務の履行による支出 | △1,950 | — |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △190,216 | △209,266 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| リース債務の返済による支出 | △1,088 | △1,088 |
| 自己株式の取得による支出 | — | △84 |
| 配当金の支払額 | △74,323 | △94,841 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △75,411 | △96,015 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 7,672 | △5,594 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 48,238 | △261,759 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 3,483,692 | 4,174,088 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 3,531,931 | 3,912,328 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第2四半期連結会計期間において、ロケットベンチャー株式会社(平成30年3月23日付で4MEEE株式会社に商号変更)の全株式を取得したため、連結の範囲に含めております。

(企業結合等関係)

取得による企業結合

当社は、平成30年1月17日開催の取締役会において、ロケットベンチャー株式会社の発行済株式の100%を取得し子会社化すること決議いたしました。これに基づき平成30年1月29日付で株式会社エニグモと株式譲渡契約を締結し、同日付で当該持分を取得しております。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業内容

被取得企業の名称：ロケットベンチャー株式会社

事業の内容：女性向けメディアサービスの運営

(2) 企業結合を行った主な理由

当社グループは、「コンテンツ、メディアの開発及び拡充」を成長戦略の重要な事項の一つとしてとらえており、メディア運営事業の更なる事業拡大、中長期的な成長及び企業価値の向上につながるものと見込み、当該株式取得をいたしました。

(3) 企業結合日

平成30年1月29日(株式取得)

平成30年1月31日(みなし取得日)

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

(5) 結合後企業の名称

4MEEE株式会社(平成30年3月23日付で商号変更)

(6) 取得した議決権比率

100%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したことによるものです。

2. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

平成30年2月1日から平成30年3月31日まで

3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

| | | |
|-------|----|----------|
| 取得の対価 | 現金 | 60,030千円 |
|-------|----|----------|

| | |
|------|----------|
| 取得原価 | 60,030千円 |
|------|----------|

4. 主要な取得関連費用の内訳及び金額

| | |
|------------------|-------|
| アドバイザーに対する報酬・手数料 | 250千円 |
|------------------|-------|

5. 発生した負ののれんの金額、発生原因

(1) 発生した負ののれんの金額

14,181千円

(2) 発生原因

被取得企業の純資産が取得原価を上回ったため、その超過額を負ののれん発生益として認識しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年10月1日至平成29年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 | 四半期連結損益 計算書計上額 (注) |
|-----------------------|---------------|---------|------------|-----|--------------------------|
| | インターネット 広告 | メディア運営 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 12,653,018 | 326,136 | 12,979,155 | — | 12,979,155 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 12,653,018 | 326,136 | 12,979,155 | — | 12,979,155 |
| セグメント利益 | 411,845 | 57,758 | 469,603 | — | 469,603 |

(注)セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年10月1日至平成30年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 | 四半期連結損益 計算書計上額 (注) |
|-----------------------|---------------|---------|------------|-----|--------------------------|
| | インターネット 広告 | メディア運営 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 13,592,747 | 448,090 | 14,040,838 | — | 14,040,838 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | 2 | 2 | △2 | — |
| 計 | 13,592,747 | 448,093 | 14,040,840 | △2 | 14,040,838 |
| セグメント利益 | 418,836 | 75,684 | 494,520 | — | 494,520 |

(注)セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

当第2四半期連結会計期間においてロケットベンチャー株式会社(平成30年3月23日付で4MEEE株式会社)に商号変更しております)の全株式を取得したこととともない、「メディア運営」セグメントにおいて負ののれん発生益14,181千円を計上しております。当該事象による負ののれん発生益は特別利益のため、セグメント利益には含めておりません。